家庭

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科独自観点	(4) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。
	(5) 社会性、経済性、環境などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

観点	発行者	東 書	教 図
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	教科書全体を自立から共生に向かう構成にすることで、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を身に付けることができるよう配慮されている。	生活の課題を解決する実習題材や問題解決的な学習の例を提示することで、自分の生活の中から課題を設定し、生活を工夫し創造する力を身に付けることができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	日本各地の郷土料理として、長崎県の「卓袱料理」が掲載されており、地域の食材や歴史に根ざした食文化について関心を高めながら理解を深めることができるよう配慮されている。	長崎県の地域の食材として「さば」、郷土料理として「ちゃんぽん」が掲載されており、地産地消の利点や地域経済の活性化との関連などについて学習できるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長			
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	「いつも確かめよう」では、実習等で活用できる資料を提示することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」の過程で学習活動を構成することで、見通しをもちながら学び、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	「生活の課題と実践」として自分の生活における問題解決課題を設定することで、家庭分野の問題解決の過程に沿いながら思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「話し合ってみよう」「学びをいかそう」といった小課題を設定することで、習得した知識・技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	ガイダンスの中に、生活を振り返る「自分の生活チェック」を設定することで、自分の成長を感じながら主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。	各編に「センパイに聞こう！」を設定することで、家庭分野にかかわる身近な職業について知り、将来の職業や未来の生活を想像しながら主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。
(4)	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。	<p>始めの活動「レッツスタート」を設定することで、身近な生活の中にある問題から課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>学習のまとめの「3生活に活かそう」において、自分や家族の生活の中にある問題から課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。</p>	<p>課題解決の流れとその具体例を「学びを生かそう」に提示することで、自分の課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>各編に「考えてみよう」や「やってみよう」といった小課題を設けることで、生活の問題に気付き、例を参考にしながら課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。</p>
(5)	社会性、経済性、環境などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。	<p>買い物、調理、後かたづけの一連の活動をサステナブルクッキングとして提示することで、環境に配慮した実践的・体験的な学習活動に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>災害への備えや、被災時の中高生の役割等を提示することで、家族の一員としての意識をもちながら、安全・防災に関する実践的な学習ができるよう配慮されている。</p>	<p>衣食住のそれぞれの内容において自然災害対策事例を提示することで、近年の自然災害の教訓を意識しながら実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>ロールプレイングの活動例を提示することで、家族関係をよりよくする方法について実践的・体験的に学習することができるよう配慮されている。</p>
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	文章やキャラクターの吹き出しを簡潔な表現にすることで、学びを自分ごととして捉え、自分自身の課題を見つけることができるよう配慮されている。	本文の内容を精選し、文字量を抑えることで、写真や図などの資料が大きく見えるようにし、要点を捉えることができるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	手ばかりした食品や、幼児の小物の写真を実物大で提示することで、実感を伴った理解を深め、学習効果を高めることができるよう配慮されている。	食材を切った実物大の写真を掲載することで、切る際の大きさや太さ、薄さなどを視覚的に捉え、学習効果を高めることができるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	明るく淡い色使いにすることで、色覚への刺激を軽減し学習に集中して取り組むことができるよう配慮されている。	編や章のフォントを大きくしたり文中の重要語句の色を青の太文字で示したりすることで、要点を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。

観点	発行者	開隆堂	
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	A・B・Cの内容を、家庭・地域という空間軸と、これからの生活という時間軸の視点から整理することで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を身に付けることができるよう配慮されている。	
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	日本各地の郷土料理として、長崎県の「ちゃんぽん」が掲載されており、地産地消の考え方を生かした郷土料理や食文化について学習することができるよう配慮されている。	
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長			
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	学習内容ごとに「学習のまとめ」として、記述式の振り返りを設定することで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付いたかを確認しながら学習することができるよう工夫されている。	
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	「生活の課題と実践」として具体的な課題を設定することで、習得した知識・技能を活用しながら思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。	
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	各学習内容の導入ページに、生徒に問いかける吹き出しを提示することで、身近な生活の中にある疑問から、学習の内容に関心をもち、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。	
(4)	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。	「生活課題の見つけ方」や「生活の課題と実践の進め方」では、実際に中学生が取り組んだ具体例を提示することで、身近な生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。 「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」といった小課題を設けることで、身近な生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されている。	
(5)	社会性、経済性、環境などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。	「やってみよう」において具体的な実践例を提示することで、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。 SDGsの目標と家庭分野の学習内容の関係性を示すことで、持続可能な社会を目指した実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。	
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	タイトル名を簡潔な表現にすることで、学習内容や課題を捉えやすくし、意欲的に学習活動に取り組むことができるよう配慮されている。	
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	各学習内容の始めに、関連の深い写真を大きく配置することで、ガイダンスとして活用しながら、内容の見通しを持つことができるよう配慮されている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	「実習例」や「製作例」を横並びに配列することで、教科書を読む流れと同様に活動の流れを捉えることができるよう配慮されている。	